

JRA-VAN 競馬ソフト作成体験教室

・開発環境を整備する

当コーナーでは、「JRA-VAN Data Lab.」サービス対応の競馬ソフトを作成していくための環境設定を解説していきます。

ここでは、「JV-Link」を Microsoft Visual C++ .NET 2003 で使用できるように環境設定を行ないます。

なお、当コーナーで使用している環境は Microsoft Visual Studio.NET 2003(Professional Edition) の中の Visual C++.NET です。そのため、画面等がお使いの環境と多少異なる場合がございますので、予めご了承ください。

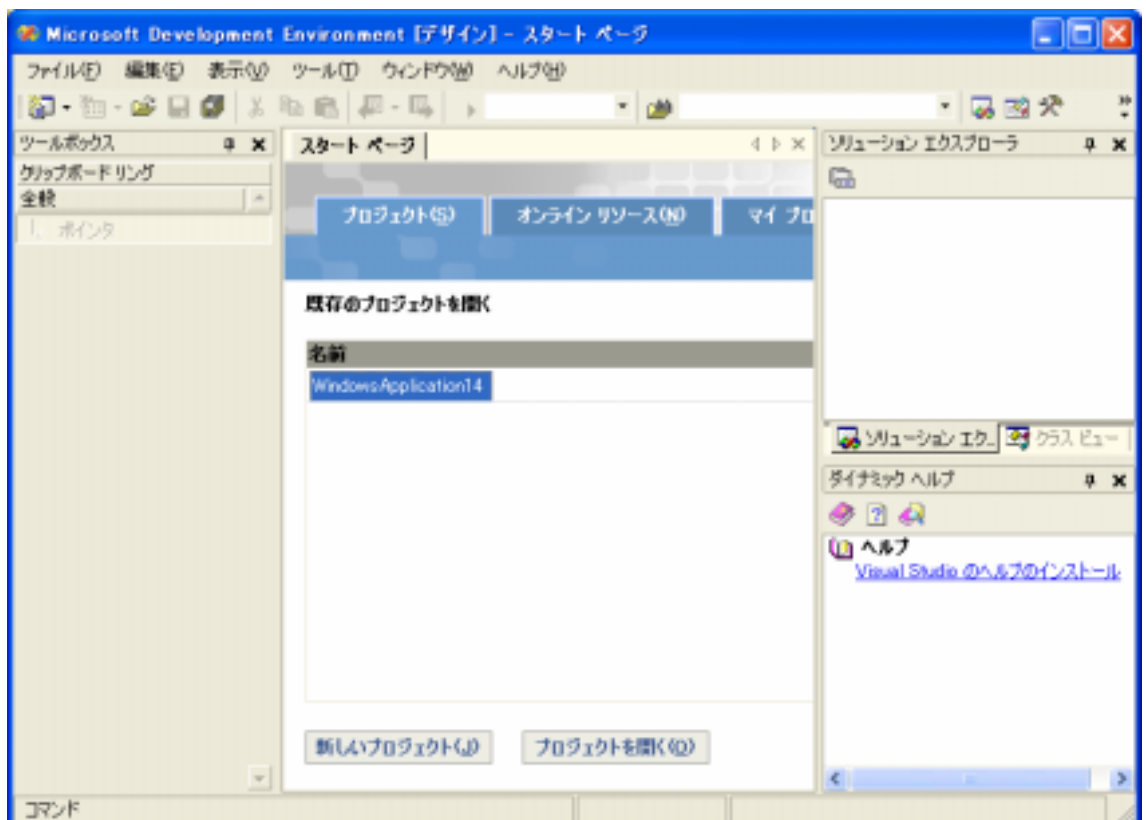
【 今回の目標 】

プロジェクトで JV-Link を使用できるように設定する。

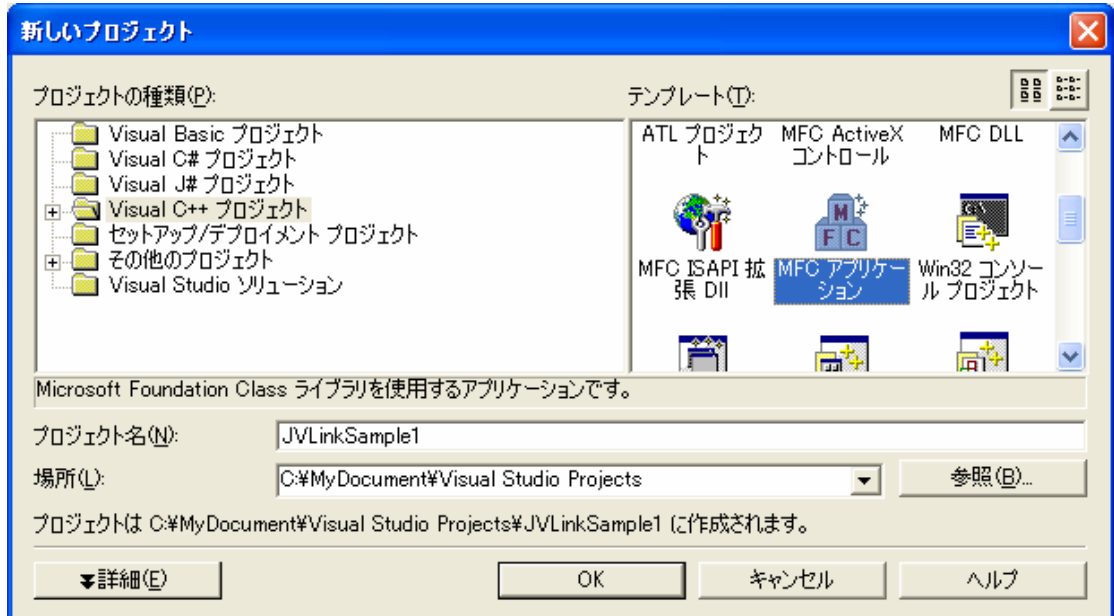
【 やってみよう 】

JV-Link をコントロールに追加しよう

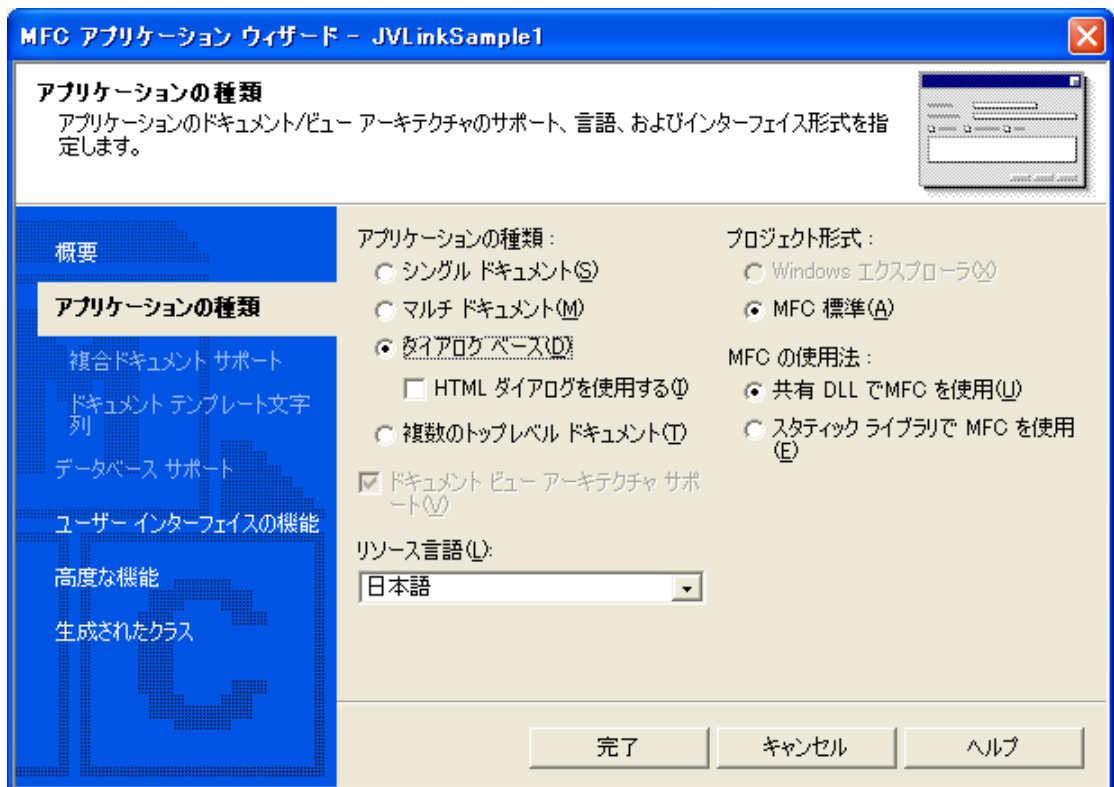
Microsoft Visual Studio.NET 2003 を起動し、「新しいプロジェクト」ボタンをクリックする。



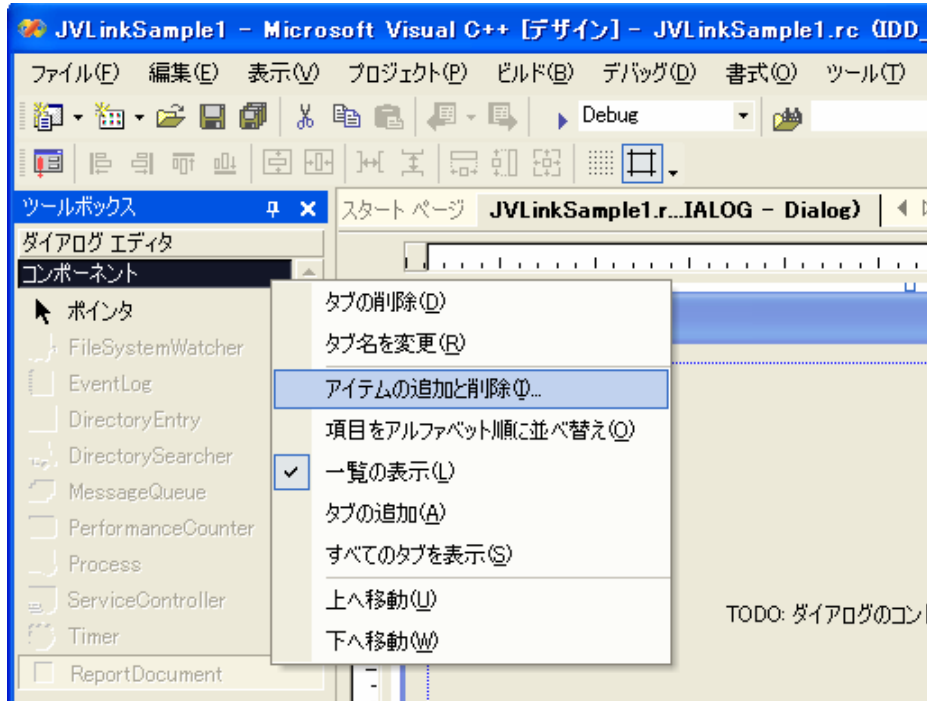
プロジェクトの種類で「Visual C++プロジェクト」を選択、テンプレートで「MFCアプリケーション」を選択し、プロジェクト名に適切なプロジェクト名を入力して「OK」ボタンをクリックする。



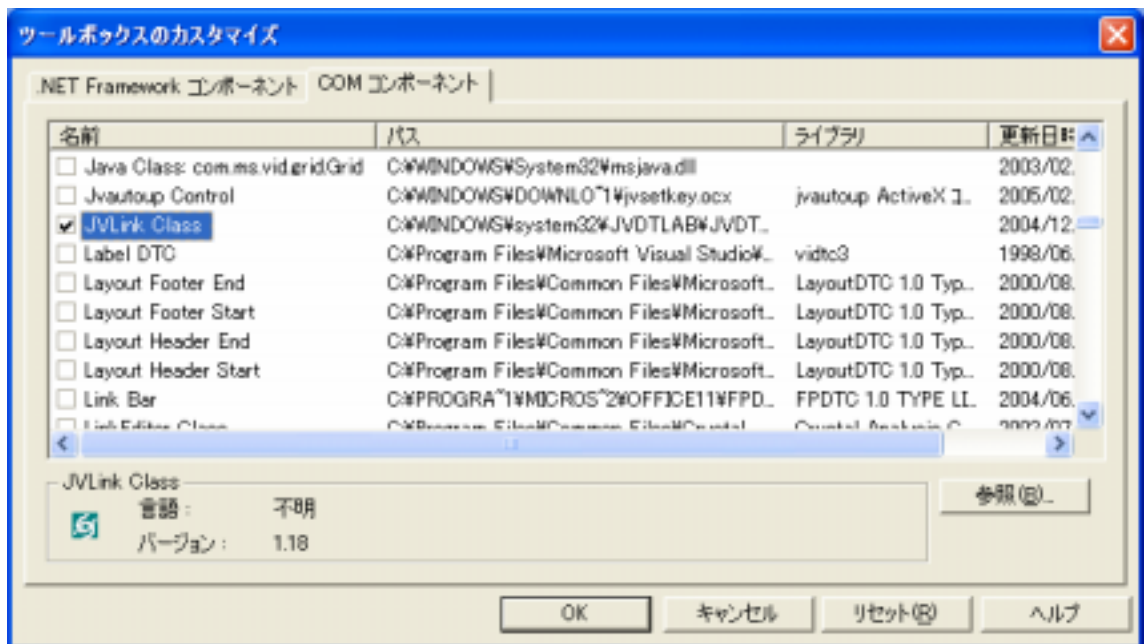
アプリケーションの種類を選択し、「ダイアログベース」を選択して「完了」ボタンをクリックする。



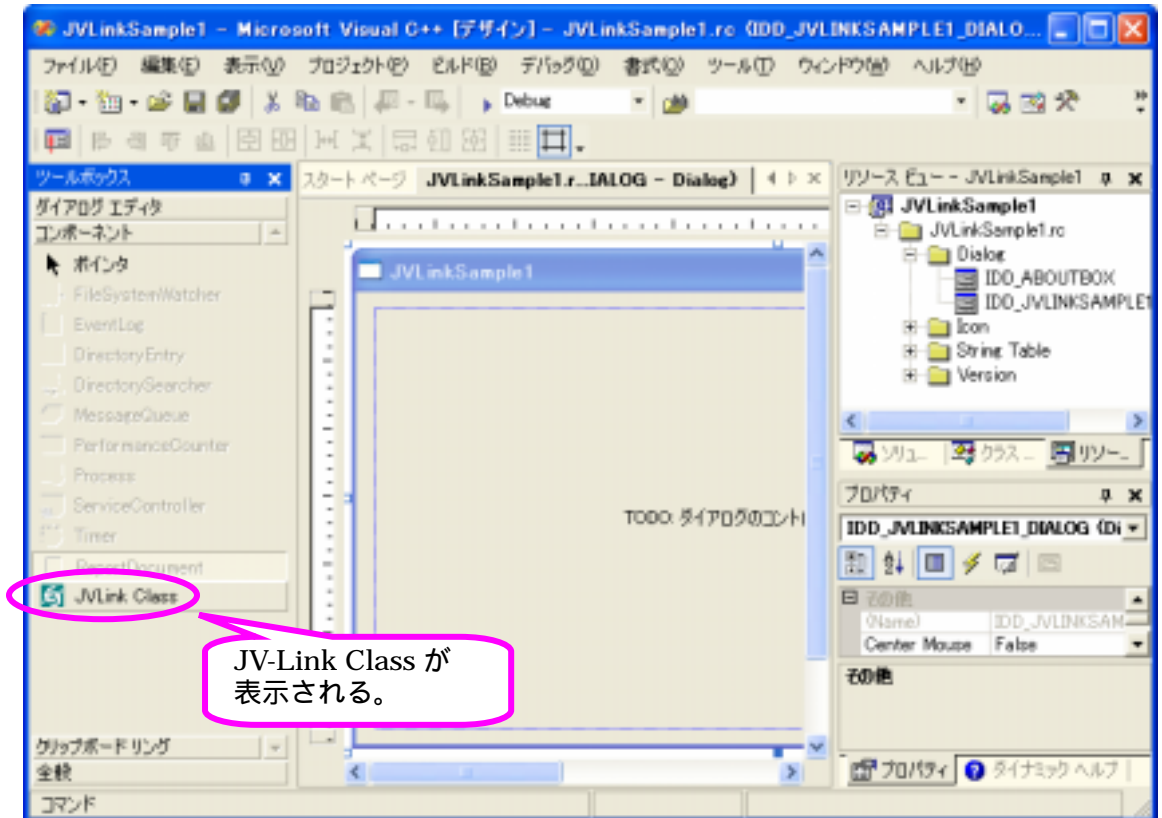
ツールボックスのコンポーネントを右クリックしてポップアップメニューを表示し、「アイテムの追加と削除」を選択する。



COM コンポーネントページの「JVLink Class」にチェックを入れて「OK」をクリックする。



コンポーネントの中に、JVLink Class が表示されたことを確認する。



【 確認しよう 】

フォームに JV-Link を貼り付けることができれば、今回の目標は達成です。

